

原城温泉真砂の施設整備は

市長 前向きに取り組んでいきたいと思っている。現在、検討をしているところである。



田中次廣 議員

原城温泉真砂の施設整備計画について

議員 今後の施設の整備について、市長は、同僚議員の質問に対し、検討するとの答弁であったが。

市長 施設整備等に関する考えだが、真砂については、これまで浴槽設備や空調機器など、適時、改修を行ってきたが、開業以来20年以上経過をしている。この間、お客様の利用形態も変化をし、特に宿泊者の利用については、個室の需要が増え

る中、今回の新型コロナウイルスの影響により、その傾向はさらに強くなってきたと認識をしている。

このような動向を踏まえ、アフターコロナにおける新しい旅行形態や社会情勢の変化に対応するための施設整備について、現在、検討をしているところである。

議員 増築する場合の部屋数と増築に要する工事金額、それに充てる財源は。

副市長 15室から20室ぐらいと考えており、建築費は15室の場合、約1億5千万円、20室の場合、約2億3千万円程度と試算している。財源は過疎債の特別分に対応できないかと考えている。

議員 当初の建設のときも、後年度の交付税措置のある過疎債を利用した。

充当率が100%、元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入される有利な起債(市の負担は3割)である。

るので、増築にあたってはこのような起債を利用させていただきたい。



原城温泉 真砂

コロナワクチン接種について

議員 接種会場までの交通手段として、乗合タクシーを利用された方は32名とのことだが、そういった交通手段が利用できるといった周知等はなされたのか。

福祉保健部長 周知は、接種券を送付するときに、「接種会場までの交通手段がない方は」ということで、チラシの中に記載をしている。

議員 あまり利用されていないようなので、再度、皆さん方に周知していただきたい。



消防団員の処遇改善は

市長 検討するよう指示を出している。



吉田 幸一郎 議員

総務部長 新聞に載っていた3万6,500円と7千円の数字は、交付税の算定が、標準団体人口10万人で、団員数が478名の金額である。消防団は地域の防人として、非常に大切な団員であり本市の1,253名を確保したいと思っている。

議員 消防団とよく協議しながら処遇改善に取り組んでいただきたい。

深江地区の排水路対策

議員 鳥鉄跡地活用の排水路計画はどうなっているか。

建設部長 浸水地域の流水状況等の調査が済み、深江川への流出について県と協議を進め大筋で合意ができたところだ。今後は、排水路の計画書を作成し、今計画している自転車歩行者専用道路整備と並行して、整備を進めていきたい。

議員 深江川に流したときの水量は大丈夫か。

建設部長 もともと深江川水系の水を持つていくという計画であるので、県から問題ないという回答をもらっている。

議員 深江川の浚渫事業はどうなっているか。

建設部長 実施できるよう県へ要望している。

議員 深江B団地の活用は、排水路整備がないと活用ができないと聞くが今回の事業に加え計画するよう提案するがどうか。

市長 B団地の開発というか、そういう利用をしていく方向で、今、検討を進めている。

コロナウイルス関係

議員 ワクチン接種希望者の終了時期は。

福祉保健部長 9月いっぱい終了の予定だ。

議員 イベントについてはどう考えているか。

地域振興部長 現時点では、県の指針により1千人以上のイベントは難しい。しかしながら、ワクチンの接種状況など感染者数が減少すれば、考え方も変わってくる可能性はあると考えている。

議員 そうであれば、2年度の成人式を来年の1月3日、3年度を1月4日に行い、中止した成人式を開催してはどうか。

市長 現在考えていない。

議員 帰省し故郷を思う機会になり、経済対策にもなると考える。対象者との意見交換を提案する。



令和元年度南島原市成人式

